

●生活・法律相談は

◆市議会議員 いぬい紳一郎 (7159)2773
 ◆市議会議員 徳増きよ子 (7148)6871
 ◆市議会議員 小田桐たかし (7154)0878
 ◆市議会議員 植田 和子 (7154)0288

日本共産党中央委員会 <http://www.jcp.or.jp/>
 日本共産党流山市議団 <http://www.nagareyama-jcp.jp/>

●サラ金、交通事故、遺産相続、借地借家、教育、医療、年金、住宅、パート労働、介護、その他、困ったこと、わからないこと、どんなことでも気軽ににおよせ下さい。

流山民報

2013年8月号
 第177号
 編集発行人
 日本共産党流山市議団
 流山市加4-1688
 TEL/FAX (7157) 6140
 E-Mail : kfbkd645@ybb.ne.jp

参議院で議案提案権を獲得! 暮らしと平和を守ります

日本共産党



普通教室へのエアコン設置や熱中症対策を求めて緊急要望書を提出しました

子どもにとってどうなの?

小中一貫校を考えるシンポジウム

8月31日(土) 午後2時～4時半
 流山市クリーンセンター研修室

問題提起 山本 由美さん 和光大学人間学部教授

主催 ● 日本共産党流山市委員会

7月21日開票の参議院選挙の結果、日本共産党は比例で5議席を確保し、選挙区でも、東京・大阪・京都で当選。3議席から8議席へと大躍進しました。非改選議席とあわせ11議席となり、議案提案権を獲得しました。自民圧勝が伝えられる中で「安倍政権の暴走に歯止めを」と、無党派や保守層からも幅広く支持が寄せられました。国政選挙での躍進は15年ぶりです。

与党が過半数を確保しましたが、選挙後も、消費税増税反対、原発ゼロ、憲法改悪反対が国民多数の声です。日本共産党は、消費税増税中止法案の提出をは

流山市政で史上最大の施設建設となるおたかの森地域の小中併設校計画。市長は、用地購入と学校建設の契約をUR都市機構と結ぶ議案を6月議会に提出しました。

事業費はさらに増額され134億円に。小1～中3の子どもたちが1500人も詰め込まれることによる学校生活への影響も心配です。

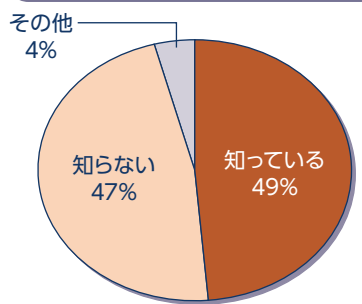
「開校までの時間がない」というだけで計画をおおる党派がある一方、日本共産党は、市民アンケートを実施し、議会活動に活かし、取り組みました。アンケートでも明らかになりました。多くの市民が知らないうちに、拙速に事業を推進することに、「市民自治」を破壊するとのわが党の追及に、市長は「49%も認知されている」と開き直りました。

小中併設校計画 徹底した住民参加で 子どもの目線にたった計画に

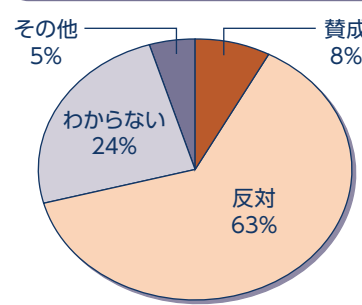


暴走を許さず ごいっしよに市民の願いにこたえる市政を

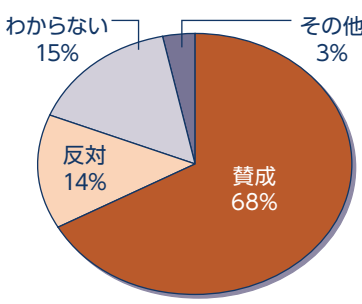
小中併設校計画を知っていますか?



小中併設校計画に賛成ですか?



住民投票をおこなうことについて



小中併設校計画に 賛成8%、反対63%

巨額の税金を投入する小中併設校建設について、市民の声を聞き市政に反映させようと日本共産党が5月に実施したアンケート活動。3万8千枚のアンケート用紙を配布し、こ

アンケートへの協力ありがとうございました 中間報告

これまで400通強を回収して集計結果は左のグラフの通り。計画自体を「知らない」が約半数、「反対」は「賛成」の8倍にもなっ

「開校までの時間がない」というだけで計画をおおる党派がある一方、日本共産党は、市民アンケートを実施し、議会活動に活かし、取り組みました。アンケートでも明らかになりました。多くの市民が知らないうちに、拙速に事業を推進することに、「市民自治」を破壊するとのわが党の追及に、市長は「49%も認知されている」と開き直りました。

また、施設の複合化が建設費を増やす要因となっていることや、既存の小中学校同様の設計に見直せば、事業費が縮減でき

さらに、国の協定を根拠に、UR都市機構(開発事業者)に応分の負担を求めることができると提案。市の計画はURの赤字穴埋めであり、開発の起爆剤作りと指摘しました。

教育施設だからこそ、徹底した住民参加で、子どもの願いに沿った計画へ、今こそ力をあつめましょう。

その他、国への請願運動が広がる放射能対策で、甲状腺調査などを求める意見書や、労働の規制緩和に反対する意見書をわが党は提案し、可決されました。

市民の声、現場の声... 市政に活かす 日本共産党



市議会議員
いぬい紳一郎



市議会議員
小田桐たかし



市議会議員
徳増きよ子



市議会議員
植田 和子

猛暑の夏... すべての普通教室に 急いでエアコン設置を!

6月議会、「子どもの健康のために教室にエアコンを設置してください」という陳情項目が全会一致で採択されました。
市内小中学校で、熱中症により救急搬送された児童生徒がでている事態を受け、日本共産党市議団は、エアコンの早期設置を求め緊急要望書を提出しました。健康で授業に集中できる教育環境整備へ、市長の責任は重大です。

高齢者福祉 熱中症対策を急いで 特別養護老人ホームの増設を

例年より梅雨明けが早まり35度を超す猛暑が続く中、高齢者が日中涼しい環境で過ごすよう公共施設の一
時解放をと熱中症対策を緊急要望しました。
流山市の特養ホーム待機者581名のうち自宅待機

くらし 8月から生活保護基準引き下げ くらしを守る運動を広げよう

政府は8月から、3年間で最高10%の基準引き下げを決定。今でも「食費は3人家族で月2万5千円。もう削れない」と実態は深刻です。さらに年金や最低賃金、就学援助制度など多くの制度に影響します。
前国会では、生活保護改悪法案が国民世論の力で廃案に追い込まれましたが、参院選後、安倍内閣は法案の再提出を狙っています。国民運動を広げ、再提出を断念させましょう。
日本共産党は、憲法25条「すべての国民が健康で文化的な生活の保障」を守り、活かす社会の実現へ全力をつくします。

アンケート活動で市民の声を聴き、全小中学校を訪問して、施設の実態を確かめ、教育現場の要望も聞く...。こうした日本共産党市議団の取り組みが、6月議会での論戦を確かなものにし、市政のチェックと市民要求の実現につながっています。

教育行政

全小中学校への視察を活かし 冷水器設置など環境改善へ

「パソコン室でポタポタ雨漏りがする」「施設が古く窓枠から雨が入ってしまいうのでガムテープで止めている」：日本共産党市議団が実施している全小中学校視察で目の当たりにした実態です。
そんな中、開かれた6月議会では、併設校の説明会開催や校舎の老朽化等の対策を求める陳情書が審議され、現場のリアルな実態を告発。冷水器未設置の3校は早期設置を約束させました。また、江戸小や東深井小等の老朽校舎対策の早期実施等を緊急要望しました。
一昨年から導入された『小中一貫教育』。しかし、市教育委員会議での具体的議論はたったの2回。しか

者が345名。そのうち介護度4、5の方で1人暮らしは36名。夫婦とも介護認定を受けている老老介護が30世帯など事態は深刻です。「介護難民」の実態改善へ、特養ホームの増設は待ったなしです。

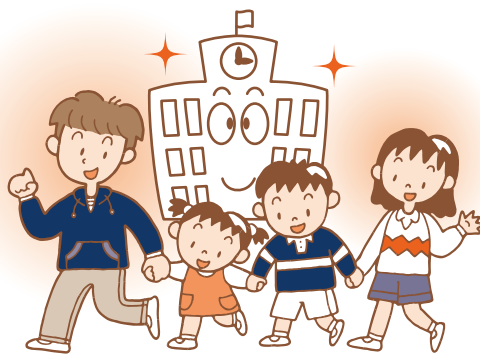
「慰安婦発言を非難し撤回を求める決議」25:1で可決

橋下徹大阪市長は「第二次世界大戦当時は慰安婦制度が必要だった」と発言。その後、国内外で激しい批判の聲が起っています。本人は全く反省していません。女性の人権を損なうばかりでなく、世界での信用を失墜させるものです。この趣旨から、同氏への非難と撤回を求める決議が、反対1名の圧倒的多数で可決されました。日本共産党は「流山市議会の良識を示すもの」「橋下氏は政治家の資格が問われる」などと賛成討論を行いました。

産業振興

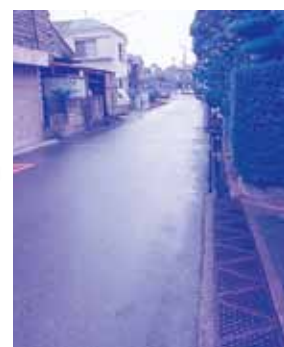
産業振興審議会前倒しで設置へ TPP陳情採択

商工業、建設、農業など市内産業の振興は、市民の所得向上と雇用機会の増大に欠かせません。産業の担い手にもっとも身近な自治体の大事な仕事です。
わが党は、この立場から、自治体の任務をしっかりと自覚し、実態を把握する活動や、振興の方向を探求する
施策の実行を一貫して提案してきました。市は、「流山市産業振興審議会」の設置と諮問を当初予定を早めて実行することに。
また、市内農業を守るために「TPP参加反対」の意見書の可決を強く主張。委員会では否決でしたが、本会議で逆転可決させました。



身近な要求実現

道路側溝の改良工事実施へ。三輪野山2丁目
いぬい紳一郎



「安心です」...高齢者緊急通報装置を設置
小田桐たかし



就学援助制度のお知らせをわかりやすく改善
徳増きよ子



高齢者福祉センターの倶楽部の施設改善実現へ!
植田和子

